



近大行くなら

マナビズム

近大×マナビズム
過去問解説2023
テキスト **世界史**

近大世界史の特徴と対策(概要)

全体像の把握が合否の鍵を握る。

全体像

	出題内容	問題数	配点	理想	時間配分
I	主に欧米地域	20問	50点	40点	30分
II	主にアジア地域	20問	50点	40点	30分
	合計	40問	100点	80点	60分

配点の割合

I	50点
II	50点

地域ごとの優先順位

I

- ①ヨーロッパ史はオリエント～現代までタテの流れをおさえる。
└特に、力を入れるのは、オリエント・ギリシャ・ローマ・中世。
- ②ヨーロッパ史の文化史をおさえる（作者と作品名を一致させる）
- ③ヨーロッパを軸に同時代のイスラーム王朝との関係性をおさえていく。
- ④北アメリカ史・ラテンアメリカ史・ロシア史を優先的に整理する。

II

- ①中国史の通史をおさえる。
└特に、明以降の近現代史、教科書に出てくる地図・地名。
- ②イスラームをおさえる。
- ③遊牧民史をおさえる。
- ④朝鮮史をおさえる。

近大世界史の学習優先度 トップ3



アジア史は
中国史・イスラーム史



西洋史は
オリエント・ギリシャ・ローマ・ヨーロッパ史



年号の暗記

オススメ参考書

オススメ
1

詳説世界史B (山川出版社)



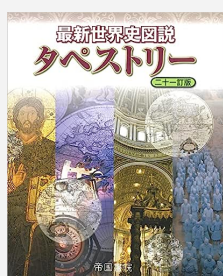
【目標習得期間】2～3ヶ月で1周

【学習のポイント】

- ①因果関係の理解を意識する。
- ②地域ごとに整理する。
- ③本文で出てきた地名に印をつける。

オススメ
2

最新世界史図説タペストリー



【目標習得期間】通年

【学習のポイント】

- ①表を利用し地域ごとに整理する。
- ②表の王朝名・政権担当者を順番に言えるようにする。
- ③頭の整理のためにノートに書き写すのも有効。

オススメ
3

元祖 世界史の年代暗記法



【目標習得期間】入試直前期の1か月

【学習のポイント】

- ①赤シートで隠し赤字の年号を覚える
- ②流れや解説の説明にも目を通し復習する。
- ③覚えにくいものはゴロも利用する。

世 界 史

(解答番号 ～)

I 次の文A、Bを読んで、下の問い（問1～17）に答えよ。

A 中世ヨーロッパでは遠隔地貿易が活発になり、¹地中海を中心とする交易圏と、
²北海・バルト海を中心とする交易圏が発展した。地中海交易圏の港市には³ヴェネ
ツィアや があり、北海・バルト海交易圏の商業都市としては、北ドイ
ツの⁴リューベックや がある。また、これら南北の交易圏を結びつける
内陸の通商路上に都市が栄えた。フランスの 地方ではトロワなどの都
市で大規模な定期市がひらかれ、南ドイツでは⁵アウクスブルクや など
の都市が発展した。

問1 に最も適する語を次の①～④から一つ選んで、マークせよ。

① ミラノ

② フィレンツェ

③ ケルン

④ ピ サ

問2 に最も適する語を次の①～④から一つ選んで、マークせよ。

① フランクフルト

② マインツ

③ ヴュルツブルク

④ ブレーメン

問3 に最も適する語を次の①～④から一つ選んで、マークせよ。

① ブルゴーニュ

② シャンパーニュ

③ ノルマンディー

④ ブルターニュ

問4 d に最も適する語を次の①～④から一つ選んで、マークせよ。

4

- | | |
|-----------|---------|
| ① ベルゲン | ② リヨン |
| ③ ニュルンベルク | ④ ダンツィヒ |

問5 下線部1に関して、地中海交易圏とインド洋の交易圏を結ぶ商業活動をおこなったカーリミー商人について述べた以下の文（ア）、（イ）の正誤の組み合わせとして正しいものはどれか、最も適するものを次の①～④から一つ選んで、マークせよ。 5

- （ア） カーリミー商人はダウ船と呼ばれる三角帆の船を用いて活動した。
（イ） カーリミー商人はマラケシュに都をおく王朝の庇護下で活動した。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① （ア）－正 （イ）－正 | ② （ア）－正 （イ）－誤 |
| ③ （ア）－誤 （イ）－正 | ④ （ア）－誤 （イ）－誤 |

問6 下線部2に関連して、この交易圏に含まれるフランドル地方は毛織物の生産で栄えた。フランドル地方に毛織物の原料である羊毛を輸出した代表的な都市はどこか、最も適するものを次の①～④から一つ選んで、マークせよ。

6

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| ① ロンドン | ② ジェノヴァ | ③ マルセイユ | ④ ノヴゴロド |
|--------|---------|---------|---------|

問7 下線部3に関連して、ヴェネツィアの商人マルコ＝ポーロが仕えたと言われるモンゴル帝国の大ハン（在位1260～94）はだれか、最も適するものを次の①～④から一つ選んで、マークせよ。 7

- | | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| ① フラグ | ② モンケ | ③ フビライ | ④ ハイドゥ |
|-------|-------|--------|--------|

(1) リューベックは北ドイツの都市同盟の盟主であった。この都市同盟の名称はどれか、最も適するものを次の①～④から一つ選んで、マークせよ。

④ シュマルカルデン同盟

9

④ (ア) - 誤 (イ) - 誤

10

B イベリア半島では、8世紀に e 王国が f 朝に滅ぼされて以来、
6 イスラーム勢力が優勢であった。しかし、北部のキリスト教徒は再征服運動（国
7 土回復運動）をすすめ、15世紀半ばまでには半島の大部分がキリスト教圏になっ
た。イベリア半島における最後のイスラーム王朝は g を拠点とする
h 朝であった。この王朝は i 年に成立した j 王国に
よって滅ぼされた。

問10 e に最も適する語を次の①～④から一つ選んで，マークせよ。

11

- ① 東ゴート ② 西ゴート ③ ブルグント ④ ヴァンダル

問11 f に最も適する語を次の①～⑥から一つ選んで，マークせよ。

12

- ① ムラービト ② セルジューク ③ ウマイヤ
④ 後ウマイヤ ⑤ ナスル ⑥ アイユーブ

問12 g に最も適する語を次の①～④から一つ選んで，マークせよ。

13

- ① コルドバ ② グラナダ ③ バルセロナ ④ リスボン

問13 h に最も適する語を次の①～⑥から一つ選んで，マークせよ。

14

- ① ムラービト ② セルジューク ③ ウマイヤ
④ 後ウマイヤ ⑤ ナスル ⑥ アイユーブ

問14 i に最も適する語を次の①～④から一つ選んで，マークせよ。

15

- ① 1469 ② 1479 ③ 1482 ④ 1492

問15 j に最も適する語を次の①～④から一つ選んで，マークせよ。

16

- ① アラゴン ② カスティーリャ
③ ポルトガル ④ スペイン

問16 下線部6に関連して、次の(1), (2)に答えよ。

- (1) イベリア半島の中央部付近に位置する都市トレドでは、12世紀頃、ある言語で書かれた多くの文献がラテン語に翻訳された。それらの文献の翻訳前の言語はどれか、最も適するものを次の①～④から一つ選んで、マークせよ。

17

- ① アラビア語 ② ヘブライ語 ③ ペルシア語 ④ アラム語

- (2) イベリア半島の西北部の町サンティアゴ=デ=コンポステラはキリスト教徒の三大巡礼地のひとつとして有名である。この地に墓があるとされる十二使徒のひとりは何れか、最も適するものを次の①～④から一つ選んで、マークせよ。

18

- ① ヨハネ ② パウロ ③ ペテロ ④ ヤコブ

問17 下線部7に関連して、次の(1), (2)に答えよ。

- (1) キリスト教に関連する以下の(ア)～(ウ)の3つの出来事が、年代の古いものから順に正しく配列されているものはどれか、次の①～⑥から一つ選んで、マークせよ。

19

(ア) フランク王ピピンがラヴェンナ地方を教皇に寄進した。

(イ) 教皇グレゴリウス1世の時代、ローマ教会はゲルマン人への布教を強化した。

(ウ) ベネディクトゥスがイタリアのモンテ=カシノに修道院をひらいた。

- ① (ア) → (イ) → (ウ)
② (ア) → (ウ) → (イ)
③ (イ) → (ア) → (ウ)
④ (イ) → (ウ) → (ア)
⑤ (ウ) → (ア) → (イ)
⑥ (ウ) → (イ) → (ア)

- (2) キリシト教について述べた以下の文 (ア), (イ) の正誤の組み合わせとして正しいものはどれか, 次の①～④から一つ選んで, マークせよ。

20

(ア) イエスは反逆者としてローマで十字架にかけられた。

(イ) ユリアヌス帝はアタナシウス派キリシト教を国教とした。

① (ア)－正 (イ)－正

② (ア)－正 (イ)－誤

③ (ア)－誤 (イ)－正

④ (ア)－誤 (イ)－誤

Ⅱ 次の文A、Bを読んで、下の問い（問1～19）に答えよ。

A 系の遊牧民であるスキタイは 北岸を中心に活動し、近隣のアケメネス朝と争った。

¹ 一方、ユーラシア大陸の東部では、紀元前4世紀頃から騎馬遊牧民の動きが活発となった。なかでも は、紀元前2世紀にモンゴル高原を統一し、さらに を攻撃してタリム盆地を支配下においた。²しかし、 は ³漢の武帝に敗退し、次第に衰退、分裂した。漢は から奪った地域に ⁴ 郡など4郡をおいた。

問1 に最も適する語を次の①～④から一つ選んで、マークせよ。

- ① イラン ② モンゴル ③ トルコ ④ ツングース

問2 に最も適する語を次の①～④から一つ選んで、マークせよ。

- ① バイカル湖 ② アラル海 ③ バルハシ湖 ④ 黒海

問3 に最も適する語を次の①～⑥から一つ選んで、マークせよ。

- ① 東胡 ② 月氏 ③ 高車
④ 大宛 ⑤ 匈奴 ⑥ 大夏

問4 に最も適する語を次の①～⑥から一つ選んで、マークせよ。

- ① 東胡 ② 月氏 ③ 高車
④ 大宛 ⑤ 匈奴 ⑥ 大夏

問5 e に最も適する語を次の①～④から一つ選んで、マークせよ。

25

- ① 交趾 ② 楽浪 ③ 敦煌 ④ 帶方

問6 下線部1に関連して、次の(1), (2)に答えよ。

(1) アケメネス朝について述べた文として正しいものはどれか、最も適するものを次の①～④から一つ選んで、マークせよ。 26

- ① 金貨や銀貨を発行した。
② クテシフォンを首都とした。
③ ユダヤ人をバビロンに連行した。
④ 服属した諸民族の宗教を認めなかった。

(2) アケメネス朝によって交易活動が保護されたアラム人について述べた以下の文(ア), (イ)の正誤の組み合わせとして正しいものはどれか、次の①～④から一つ選んで、マークせよ。 27

- (ア) ダマスクスを主な拠点としていた。
(イ) アラビア文字の母体となる文字を用いた。

- ① (ア)－正 (イ)－正 ② (ア)－正 (イ)－誤
③ (ア)－誤 (イ)－正 ④ (ア)－誤 (イ)－誤

問7 下線部2に関連して、オゴタイがモンゴル高原に建設した首都はどれか、最も適するものを次の①～④から一つ選んで、マークせよ。 28

- ① カラコルム ② アルマリク ③ サライ ④ タブリーズ

問8 下線部3に関連して、タリム盆地に設置された西域都護府について述べた以下の文（ア）、（イ）の正誤の組み合わせとして正しいものはどれか、次の①～

④から一つ選んで、マークせよ。 29

（ア） 西域都護府に、大秦王安敦の使節が到来した。

（イ） 西域都護の班超を大秦に派遣した。

① （ア）－正 （イ）－正

② （ア）－正 （イ）－誤

③ （ア）－誤 （イ）－正

④ （ア）－誤 （イ）－誤

問9 下線部4について、漢の武帝の時代の出来事について述べた文として正しいものはどれか、最も適するものを次の①～④から一つ選んで、マークせよ。

30

① 布銭を発行した。

② 紙を国家の専売品とした。

③ 地方長官が人材を推薦する制度を定めた。

④ 呉や楚などの王や諸侯の反乱を鎮圧した。

B f 氏がたてた晋は⁵3世紀末におきた内乱によって衰退し、自立した
c の一派によって滅ぼされた。その後、晋は南方で復興したが、実権を
握った g によって滅ぼされた。

一方、華北や河西地方では諸民族が自立して、⁶五胡十六国と呼ばれる戦乱の時代となった。この状況は、h のたてた⁷北魏が⁸華北を統一して収束した。

この頃、モンゴル高原や⁹中央アジア西部では遊牧民族が勢力を拡大した。なかでも、エフタルはインドに侵入して i 朝を圧迫したが、後にササン朝ペルシアの j によって滅ぼされた。

問10 f に最も適する語を次の①～④から一つ選んで、マークせよ。

31

① 拓 跋

② 曹

③ 司 馬

④ 王

問11 g に最も適する語を次の①～④から一つ選んで，マークせよ。

32

- ① 劉 秀 ② 劉 備 ③ 劉 邦 ④ 劉 裕

問12 h に最も適する語を次の①～④から一つ選んで，マークせよ。

33

- ① 鮮 卑 ② 羌 ③ 柔 然 ④ 氐

問13 i に最も適する語を次の①～④から一つ選んで，マークせよ。

34

- ① チョーラ ② サータヴァーハナ
③ クシャーナ ④ グプタ

問14 j に最も適する語を次の①～④から一つ選んで，マークせよ。

35

- ① シャープール 1 世 ② アルダシール 1 世
③ ホスロー 1 世 ④ ダレイオス 1 世

問15 下線部 5 について，この内乱を主導したのはどのような人々か，最も適するものを次の①～④から一つ選んで，マークせよ。 36

- ① 政策に反発した商人
② 権力を争う皇帝の一族
③ 弾圧された民間宗教の指導者
④ 労役に苦しむ農民

問16 下線部6に関連して、五胡十六国の時代と同時期におこった出来事はどれか、最も適するものを次の①～④から一つ選んで、マークせよ。 37

- ① ゲルマン人の大移動がはじまった。
- ② 卑弥呼が中国に使節を派遣した。
- ③ マニ教が創始された。
- ④ クメール人が真臘を建国した。

問17 下線部7について、北魏の時代におこった出来事について述べた以下の文(ア)、(イ)の正誤の組み合わせとして正しいものはどれか、次の①～④から一つ選んで、マークせよ。 38

- (ア) 農業技術をまとめた『斉民要術』が編纂された。
(イ) 自民族の風習を守るため、漢化を禁止した。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① (ア)－正 (イ)－正 | ② (ア)－正 (イ)－誤 |
| ③ (ア)－誤 (イ)－正 | ④ (ア)－誤 (イ)－誤 |

問18 下線部8に関連して、唐の勢力を排除して朝鮮半島を統一した国家はどれか、最も適するものを次の①～④から一つ選んで、マークせよ。 39

- ① 百 済 ② 高 麗 ③ 新 羅 ④ 高句麗

問19 下線部9に関連して、19世紀初頭、西トルキスタンに存在した国家として誤っているものはどれか、次の①～④から一つ選んで、マークせよ。

40

- | | |
|-------------|-----------|
| ① コーカンド＝ハン国 | ② ヒヴァ＝ハン国 |
| ③ クリム＝ハン国 | ④ ブハラ＝ハン国 |

近大世界史 2023 年 解説

【I】

1	4	2	4	3	2	4	3	5	2
6	4	7	1	8	3	9	4	10	1
11	2	12	3	13	2	14	5	15	2
16	4	17	1	18	4	19	6	20	4

<解説>

【問 1～4, 6】

教科書に記載あり。

中世ヨーロッパにおける商業圏の発展について聞いているが、教科書の文言のまま出題されているため、得点したい。カギとなるのは、商業圏ごとの整理である。教科書にあるように、下記の 4 地域の枠内組で各都市を整理するとよい。

《資料 1：中世ヨーロッパの貿易圏》¹

商業圏	主な都市
地中海商業圏	① <u>ヴェネツィア</u> → 港。東方貿易。 ② <u>ジェノヴァ</u> → 港。東方貿易 ③ <u>ピサ</u> → 港。東方貿易 ④ <u>フィレンツェ</u> → 内陸。毛織物業・メディチ家。 ⑤ <u>ミラノ</u> → 内陸。毛織物業 ↳ ロンバルディア同盟の中心。
北ヨーロッパ商業圏	① <u>ブルージュ</u> → 毛織物業。 ② <u>ガゼン</u> → 毛織物業。 ③ <u>ロンドン</u> → 貿易。羊毛を輸出。 ④ <u>ブレーメン</u> → 海産物・木材・穀物 ⑤ <u>ハンブルク</u> → 海産物・木材・穀物 ⑥ <u>リューベック</u> → 海産物・木材・穀物 ↳ ハンザ同盟の中心。 ➤ ハンザ同盟四大商館： <u>ブリュージュ</u> ・ <u>ロンドン</u> ・ <u>ベルゲン</u> ・ <u>ノヴゴロド</u>
通行路	① <u>シャンパーニュ地方</u> → 定期市 ② <u>ニュルンベルク</u> ③ <u>アウクスブルク</u> → フッガー家。

《資料 2：中世都市・交通路と二大商業圏》²



【問 1】

上記より、地中海貿易圏の港市として適切なものはピサである。³

【問 2】

上記より、北ヨーロッパ貿易圏として適切なものはブレーメンである。⁴

【問 3】

上記より、大規模な定期市が開かれたのはシャンパーニュ地方である。⁵

【問 4】

上記より、内陸の南ドイツで⁶通行都市として適切なものはニュルンベルクである。⁷

【問 5】

教科書に記載あり。見落としがちかもしれないが、しっかり教科書に記載されている。
 このような地域横断的なグローバル・ヒストリーの観点は近年頻出なので、地図を使いしっ
 かり整理した上で臨みたい。

(ア) カーリミー商人はダウ船と呼ばれる三角帆の船を用いて活動した：○

→教科書に記載あり。

なお、イスラーム商人であるカーリミー商人の船をダウ船というのに対して、中国
 商人の船はジャンク船という。⁸

(イ) カーリミー商人はマラケシュに都をおく王朝の庇護下で活動した：×

→教科書に記載あり。

都の名前が間違っている。教科書にあるように、カーリミー商人を庇護下のおいた
 王朝はエジプトのアイユーブ朝やマムルーク朝だが、それらの首都はマラケシュで
 はなく、カイロである。なお、マラケシュは北アフリカのムラービト朝やムラッヒ
 ド朝の首都である。⁹

《資料 3:イスラーム王朝》¹⁰

アラブ系 / イラン系 / トルコ系 / ベルベル系				
時期	イラン・イラク	エジプト	北アフリカ	イベリア半島
8c	ウマイヤ朝			
9c	アッパース朝			後ウマイヤ朝
10c	ブワイフ朝	ファーティマ朝	ファ	
11c	セルジューク朝		ムラービト朝	
12c		マムルーク朝	ムワッヒド朝	
13c	イル＝ハン国	アイユーブ朝		ナスル朝

【問 6】

前述のヨーロッパ商業圏の図を参照。そこにあるように、フランドル地方の毛織物が輸出さ
 れた代表的な都市はロンドンである。¹¹

【問 7】

教科書に直接に記載はないが、注意して知識をインプットしていれば解けたらう。

前提

教科書にあるように、

- ・ **マルコ・ポーロ** は元の都大都を訪れたとある。この大都がポイントである。¹²
- ・ 都を大都と定めたのは **フビライ＝ハン** である。¹³

解法

したがって、上記を考慮した場合、大都とフビライ＝ハンを結び付ければ正解することができたらう。

なお、教科書に記載されている家系図からわかるように、その他の選択肢の人物はフビライより以前の自分であり、彼らの治世の時に大都はまだ存在していないため、不適切だとわかる。このように教科書に直接的な記載がなくても、消去法まで用いれば、確信をもって正解が選べる問題である。

《資料 4：モンゴル帝国のハンの整理》¹⁴

年代	政権担当者	出来事
1200 ～20 年代	チンギス	・ クリムライからハンの称号 ・ ナイマン× ・ ホラズム朝× ・ 西夏×
1230 ～30 年代	オゴタイ	・ 都：<u>カラコルム</u> ・ 金× ・ バトゥ の西征（ヨーロッパへ） ・ ワールシタッドの戦い→西洋 vs モンゴル
1240 年代	グユク	・ モンテ＝カルピニ がカラコルムに到着
1250 年代	モンケ	・ ルブルク がカラコルムに到着 ・ フラグ → アッバース朝× → イル＝ハン国 ・ 高麗×
1260 ～90 年代	フビライ	・ 都：<u>大都</u> ・ ハイドゥの乱 ・ 国号を元に。→ マルコ＝ポーロ が到着。 ・ 元寇（1274 年：文永の役 / 1281 年：弘安の役） ・ パガン朝×
		・ モンテ＝コルヴィノ が大都に到着 ・ チャガタイ＝ハン国○ ・ イブン＝バットゥータ を大都に到着。

【問 8】

教科書に記載あり。

前述のヨーロッパ商業圏と関連して、中世ヨーロッパにおける都市の様子も特徴的であるため、整理しておく必要がある。下記のような図式でとらえるとわかりやすいだろう。

《資料 5：中世の都市の種類》¹⁵

地域	都市の種類	同盟
北イタリア	自治都市（コムーネ）	ロンバルディア同名
ドイツ	自由都市（帝国都市）	ハンザ同盟

- (1) 上記より、リューベックを盟主とする北ドイツの都市同盟はハンザ同盟である。
- (2) 上記のように整理していれば、比較的簡単に解けただろう。ただし、教科書の地図に目を通しておく必要がある。近大の特徴がよく表れた問題だと言える。

(ア) 都市同盟を構成する北ドイツの各都市はコム＝ネと呼ばれた：×

→教科書に記載あり。上記にあるように、ハンザ同盟の各都市は自由都市（帝国都市）と呼ばれた。¹⁶

(イ) パリにはこの都市同盟の在外四大商館のひとつがあった：×

→教科書に記載あり。具体的には 140 頁の地図参照。在外四大商館所在地はロンドン、ベルゲン、ノヴゴドロ、ガンである。¹⁷

【問 9】

教科書に記載あり。

中世ヨーロッパで繁栄した富豪一族に関しても、下記のような図式で整理しておくといよい。

➤ フッガー家…(独)アウクスブルク

➤ メディチ家…(伊)フィレンツェ¹⁸

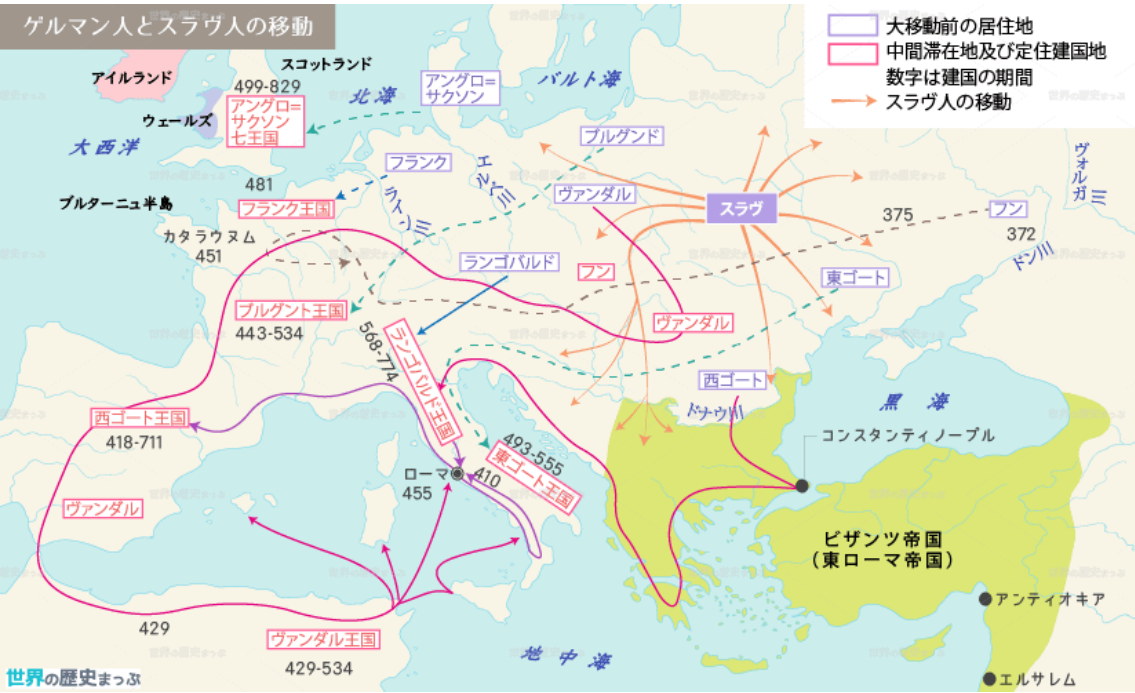
よって、アウクスブルクで繁栄した富豪一族はフッガー家だとわかる。

【問 10】

教科書に記載あり。

711 年にイスラーム勢力であるウマイヤ朝によって滅ぼされたイベリア半島の国は西ゴート国である。なお、このようにゲルマン人国家は頻出であるので、地図でどの地域にどのような王朝があるか完璧に覚えておこう。¹⁹

《資料 6：ゲルマン民族の大移動》 20



《資料 7：ゲルマン人の諸国家》 21

部族名	建国地	在続期間	倒した九人
ヴァンダル人	アフリカ北岸	429～523	ヴィザンツ帝国
西ゴート人	イベリア半島	418～711	ウマイア朝
東ゴート人	イタリア	493～555	ヴィザンツ帝国
ランゴバルド人	北イタリア	568～774	フランク王国
ブルグンド人	ガリア東南部	443～554	フランク王国
フランク人	ライン～ガリア	5c 後～843	ヴァンダル条約で分裂
アングロ＝サクソン人	ブリテン島	449～829	エクバートの統一

【問 11】

教科書に記載あり。

問 10 の解説にあるように、711 年にイスラーム勢力であるウマイア朝によって西ゴートは滅ぼされ、イベリア半島はイスラーム勢力下に入った。²²

【問 12】

教科書に記載あり。

イベリア半島における最後のイスラーム王朝であるナスル朝はグラナダを拠点とした。²³

【問 13】

教科書に記載あり。

問 12 にあるように、イベリア半島における最後のイスラーム王朝はナスル朝である。²⁴

【問 14】

教科書に記載あり。

ナスル朝を滅ぼしたイベリア半島の国はスペイン王国である。²⁵

そして、このスペイン王国だが、イベリア半島において、カスティーリャ王国のイザベルとアラゴン王国のフェルナンドの結婚により、1479 年に両国が統合されて成立した。²⁶

【問 15】

教科書に記載あり。

問 14 であるように、1479 年にイベリア半島に成立し、ナスル朝を滅ぼしたのはスペイン王国である。²⁷

【問 16】

教科書に記載あり。

グローバル・ヒストリーの文脈において、近年出題は増えている。

中世において、トレドではアラビア語で書かれた古代ギリシアの書物がラテン語に翻訳されていた。図式すると以下ようになる。²⁸

ヴィザンツ帝国（古代ギリシャ）	アラビア語 →	イスラーム圏	ラテン語 →	トレド
-----------------	------------	--------	-----------	-----

(1) 上記のように、トレドではアラビア語の書物がラテン語に翻訳された。²⁹

(2) 教科書に記載なし。用語集の知識が必要になる。だが、グローバル・ヒストリーの文脈で近年出題が増えておる用語なので、しっかり一元化して覚えておこう。

- サンチャゴ＝デ＝コンポステラ…Santiago de Compostela イベリア半島西北部の町。ここで十二使徒の一人聖ヤコブ（スペイン語でサンチャゴ）の墓が発見されたという伝承から、多くの巡礼者を集めた。³⁰
よって、上記にあるように、ヤコブが正解である。

【問 17】

教科書に記載あり。

- (1) キリスト教布教の流れを時系列でとらえていれば難なく解けただろう。以下のような時系列になるため、整理しておこう。

6 世紀	モンテ・カシノ修道院が開かれる。 ³¹
6 世紀末	グレゴリウス 1 世がゲルマン人への布教を強化。 ³²
8 世紀	ピピンの寄進 ³³

よって、ウ→イ→アの順番となる。

《資料 8：フランク王国の分裂とキリスト教》³⁴

年号	王朝名	国王	出来事
481 年	メロヴィング朝	クローヴィス	アタナシウス派に改宗
529 年			モンテ・カシノ修道会、設立
590 年～			教皇グレゴリウス 1 世による布教
732 年			・トゥール・ポワティエ間の戦い …宮宰カール・マルテルが活躍
751 年	カロリング朝	ピピン	カロリング朝を成立 …王宮アーヘン
756 年			・ピピンの寄進 …ラヴェンナ地方を教皇領として寄進
774 年		カール大帝	ランゴバルド×
800 年			・カールの戴冠 …教皇レオ 3 世により、西ローマ帝国の帝冠を与えられる。
843 年			・ヴェルダン条約 …東フランクと西フランクに分裂
870 年			・メンセン条約 …現在の仏・独・伊の基礎ができる。

【問 17】

- (2) キリスト教や聖書に対する基礎知識がなければ、用語集の内容まで把握していないと解くのに苦戦したかもしれない。

(ア) イエスは反逆者としてローマで十字架にかけられた：

→用語集のみ記載あり。イエスが処刑されたのは、ローマではなくイエルサレムである。なお、この処刑の3日後にイエスがイエルサレムの地で復活したため、キリスト教でイエルサレムは聖地とされている。

- イエス…キリスト教を創始したユダヤ人。30歳頃洗礼者ヨハネの教えに共感し、受洗後、ガリラヤ地方で伝道した。神の絶対愛を説き、形式主義的なパリサイ派を批判した。イエルサレムで逮捕され、ローマの属州総督ピラトにより十字架刑に処せられた。³⁵

(イ) ユリアヌス帝はアタナシウス派キリスト教を国教とした：×

→こちらは教科書に記載あり。アタナシウス派のキリスト教を国教としたのはテオドシウス帝である。³⁶

《資料9：キリスト教成立史》³⁷

年号	皇帝	出来事
64年	ネロ	大迫害
303年	ディオクレティアヌス	大迫害
323年	コンスタンティヌス	ミラノ勅令→キリスト教公認
325年		・ <u>ニケーア公会議</u> …アタナシウス派○ / アリウス派×
361年	ユリアヌス	異教の復活
392年	テオドシウス	キリスト教国教化
431年		・ <u>エフェソス公会議</u> …アタナシウス派○ / ネストリウス派×

【Ⅱ】

21	1	22	4	23	5	24	2	25	3
26	3	27	1	28	1	29	2	30	3
31	3	32	4	33	1	34	4	35	3
36	2	37	1	38	2	39	3	40	3

<解説>

【問 1】

用語集にのみ記載あり。

なお、ユーラシア大陸内陸の遊牧民史は近年研究が盛んであるため、これから増えていく可能性は高い。そのため、しっかり整理して覚えておこう。

- ・ スキタイ…前 7～前 3 世紀、カフカス・黒海北方の草原地帯にいたイラン系の騎馬遊牧民で、古代ギリシア人による呼称。独特の動物文様を持つ装飾品が知られる。起源については、北アジアの遊牧民が西アジアへ侵入したとの説が有力である。彼らはユーラシア草原の遊牧国家のモデルを作った。³⁸

【問 2】

用語集のみ記載あり。同上。

上記にあるように、スキタイは黒海沿岸で活躍した遊牧民族である。³⁹

【問 3】

教科書に記載あり。

紀元前 2 世紀にモンゴル高原を統一した遊牧民族は匈奴である。⁴⁰

【問 4】

教科書に記載あり。

匈奴により攻撃を受け、タリム盆地を追われた遊牧民族は月氏である。⁴¹

【問 5】

教科書に記載あり。地図に目を通しておく必要がある。⁴²

また、問題文に注意する必要がある。今回は「匈奴から武帝が奪った土地」とあるので、敦煌が適切である。交趾な南海の地域名であり、楽浪郡及び帯方郡は朝鮮半島の地域名である。

《資料 10：秦・前漢の内陸アジア》⁴³



《資料 11：遊牧民族興亡表》⁴⁴

アルタイ系 / ツングース(女真)系 / 漢民族 / イラン系 / モンゴル系

時期	モンゴル高原	内陸アジア	中国王朝
～BC4c	犬戎	スキタイ	秦
BC1c	匈奴	月氏→大月氏	前漢
1～3c	鮮卑		後漢～隋
4・5c	柔然	エフタル	隋
6～7c		突厥	唐
8～9c	ウイグル	アッパース朝	
10c	遼	カラハン朝 / 西ウイグル	北宋
11c	遼 / 西夏	カラハン朝 / ナイマン	北宋
12c	金 / 西夏	西遼	南宋
13c		モンゴル	元

【問 6】

教科書に記載あり。

(1) アケメネス朝に関して、正しいものは①である。

① 金貨や銀貨を発行した：○

→教科書に記載あり。⁴⁵

② クテシフォンを首都とした：×

→教科書に記載あり。アケメネス朝の都はスサである。なお、クテシフォンはササン朝の都である。⁴⁶

③ ユダヤ人をバビロンに連行した：×

→教科書に記載あり。王朝の時期が間違っている。ユダヤ人のバビロンへの連行（バビロン捕囚）が行われたのはアケメネス朝の時ではなく、新バビロニアの時である。⁴⁷

④ 服属した諸民族の宗教を認めなかった：×

→教科書に記載あり。アケメネス朝はアッシリアとは逆に、諸民族に対して寛容であった。⁴⁸

(2) 教科書に記載あり。

(ア) ダマスクスを主な拠点としていた：○

→教科書に記載あり。⁴⁹

(イ) アラビア文字の母体となる文字を用いた：○

→教科書に記載あり。⁵⁰

《資料 12：オリエントの王朝》⁵¹

セム語族 / 非セム語族 / インド＝ヨーロッパ語族

エジプト	中東	メソポタミア
古王国		シュメール
中王国		アッカド
ヒクソス人	ヒッタイト	古バビロニア
新王国	ヘブライ / フェニアキ / アラム	ミタンニ / カッシート
末期王朝 (+クシェ王国)	アッシリア	
	リディア / メディア / 新バビロニア	
メロエ	アケメネス朝	
アレクサンドロス		

【問 7】

教科書に記載あり。

オゴタイがモンゴル高原に建設した首都はカラコルムである。⁵²

【問 8】

教科書に記載あり。

ただ、しっかり内容を理解していないと難しいかもしれない。なお、これもグローバル・ヒストリーの文脈の中では、押さえておくべきテーマである。

(ア) 西域都護府に、大秦王安敦の使節が到来した：×

→教科書に記載あり。

前提

教科書にあるように、「大秦王安敦」はローマ皇帝のマルクス・アウレニウス・アントニウスを指したものだと言われている。⁵³

解法

したがって、上記は 2 世紀における漢とローマ帝国との交易について述べた文章である。

次に教科書の知識と照らし合わせた場合、注意して読んでいないと見落とすかもしれないが、1 世紀当時の諸国の交易に関して、ローマ使節は陸路ではなく、海路で横断した。⁵⁴よって、陸路の拠点である西域都護府に到来したという上記の記述は誤りだとわかる。

(イ) 西域都護の班超を大秦に派遣した：×

→教科書に記載あり。こちらも注意して読んでいなければ見落とすかもしれないが、教科書によると班超は西域に派遣されたのみであり、ローマ本土まで至っていないことがわかる。⁵⁵よって、本選択肢は誤りである。

【問 9】

前漢の武帝の治世として、正しいものは③である。

① 布銭を発行した：×

→教科書に記載あり。時期が間違っている。布銭は戦国時代に流通した貨幣である。

⁵⁶

② 紙を国家の専売品とした：×

→教科書に記載あり。武帝が専売したには、塩・鉄・酒である。⁵⁷

③ 地方長官が人材を推薦する制度を定めた：○

→教科書に記載あり。郷挙里選のことを言っている。⁵⁸

④ 呉や楚などの王や諸侯の反乱を鎮圧した：×

→教科書に記載あり。呉楚七国の乱のことを言っているが、これを鎮圧したのは武帝ではなく、景帝である。⁵⁹

《資料 12：中国前期王朝整理》⁶⁰

時期	王朝	皇帝	出来事
BC16-15c	殷		都： <u>殷墟</u> 。青銅器・甲骨文字を使用。
BC11-8c	西周		都： <u>鎬京</u> 。封建制（地方分権）の確立
BC8-5c	春秋		（東晋）都： <u>洛邑</u> 。 ・齊の <u>桓公</u> ・晋の <u>文公</u> ・楚の <u>莊王</u> 、呉王闔閭、夫差 ・秦の <u>穆公</u> ・宋の <u>襄公</u>
BC5-3c	戦国		・秦・齊・燕・楚・韓・魏・趙 ・諸子百家
BC3c	秦	始皇帝	都： <u>咸陽</u> 。 ・ <u>郡県制</u> …中央集権 ・半両錢 ・焚書坑儒 ・陳勝・呉広の乱 / 垓下の戦い
BC3c	前漢	劉邦（高祖）	都： <u>長安</u> ・ <u>郡国制</u> …郡県制＋封建制
BC2c		景帝	五楚七国の乱
BC3c		武帝	・五經博士（ <u>董仲舒</u> ） ・ <u>郷学里選</u> ・塩・鉄・酒の専売 ・均輸法・平準法 ・ <u>張騫</u> を大月氏へ派遣 ・南越×→南海郡。 ・李氏朝鮮×→楽浪郡。
BC1c	新	王莽	
BC1-2c	後漢	光武帝	・倭の奴国に金印を授ける ・ <u>班超</u> を西域都護府に派遣 ・ <u>甘英</u> を大秦（ローマ）に向けて派遣

時期	王朝	皇帝	出来事
BC3c	三国	・魏：曹丕・曹操 ・蜀：劉備 ・呉：孫権	
BC3c	西晋	司馬炎	
BC4c	五胡十六国	・(北)五胡 ・(南)東晋：司馬睿	・(北)匈奴・鮮卑・羯・氐・羌
BC5c	南北朝	・(北)北魏：孝文帝 ・(南)宋：劉裕	・(北)拓跋氏（鮮卑） ・(南)宋→齊→梁→陳

【問 10】

教科書に記載あり。

晋（西晋）を建国したのは司馬炎である。⁶¹

【問 11】

教科書に記載あり。

東晋を倒したのは劉裕である。⁶²

【問 12】

教科書に記載あり。

北魏を建国したのは鮮卑の拓跋氏である。⁶³

【問 13】

教科書に記載あり。

エフタルが圧迫したインドの王朝はグプタ朝である。⁶⁴

【問 14】

教科書に記載あり。

エフタルを滅ぼしたのはササン朝のホスロー1世である。⁶⁵

時期	王朝	出来事
BC2600 ～BC1900	インダス文明	・モヘンジョ・ダロ ・ハラッパー
BC1500 ～BC400	ヴェーダ時代	・アーリア人 ・リグ＝ヴェーダ ・バラモン教 / ヴェルダナ教
BC7c ～BC5c	統一の気運	・小国に分裂 ↳ マガタ国・コーサラ国 ・ウパニシャッド哲学 ・ジャイナ教 / 仏教
BC4c ～BC2c	マウリア朝	・都：<u>パータリプトラ</u> ① <u>チャンドラグプタ</u> ② <u>アショーカ王</u> ↳ ダルマ ↳ 磨崖碑・石柱碑 ↳ 『仏典結集』
1c～3c	クシャーナ朝 / サータヴァーハナ朝	(クシャーナ朝) ↳ 都：<u>プラシャプラ</u> ↳ <u>カニシカ王</u> ↳ 大乘仏教 ↳ ガンダーラ美術
4c～6c	グプタ朝	- 都：<u>パータリプトラ</u> ① <u>チャンドラグプタ 1 世</u> ② <u>チャンドラグプタ 2 世</u> ・<u>法顕</u>をインドに派遣。 ・ナーランダー僧院 ・サンスクリット文学 ・グプタ美術 ・『マヌ法典』
7c	ヴァルダ朝	・<u>ハルシャ＝ヴァルダナ</u> ・<u>玄奘</u>をインドに派遣。 ・ヒンドゥー教

【問 15】

教科書に記載あり。内容的に積極法で解きたい。

前提

中国における 3 世紀の内乱ということから、八王の乱のことを下線部が示していることがわかるだろう。⁶⁷

解法

ここまで分かれば、八王の乱は「帝位をめぐる一族の争い」⁶⁸と教科書に記載されているため、②が正解だとわかる。

【問 16】

教科書に記載あり。ざっくりとした世紀で把握しておく必要がある。

五胡十六国時代と同時期の出来事として、正しいものは①である。

前提

教科書にあるように、五胡十六国時代は 4～5 世紀である。⁶⁹

選択肢

① ゲルマン人の大移動がはじまった：○

→教科書に記載あり。4 世紀の出来事である。⁷⁰

② 卑弥呼が中国に使節を派遣した：×

→教科書に記載あり。3 世紀の出来事である。⁷¹

③ マニ教が創始された：×

→教科書に記載あり。3 世紀の出来事である。⁷²

④ クメール人が真臘を建国した：×

→教科書に記載あり。6 世紀の出来事である。⁷³

【問 17】

教科書にはない知識が聞かれており、やや細かい。ただ、難関大を中心に出题されてきた用語であるため、一元化して覚えておこう。

(ア) 農業技術をまとめた『斉民要術』が編纂された：○

→用語集にのみ記載あり。

- 『斉民要術』…現存する中国最古の農書。北魏の賈思勰が 6 世紀半ばに完成した、生産から加工・調理などにいたる農業経営と技術の大成書。当時の山東地方の農業経営の実情に基づいて記されている。⁷⁴

(イ) 自民族の風習を守るため、漢化を禁止した：×

→教科書に記載あり。逆である。北魏は漢化政策を積極的に推し進めた。⁷⁵

【問 18】

教科書に記載あり。

唐の勢力を排除して朝鮮半島を統一したのは新羅である。 ⁷⁶

《資料 14：朝鮮半島の歴史》 ⁷⁷

時期	中国	朝鮮半島	出来事
BC1c	前漢 ↳武帝	衛氏朝鮮 →4 郡	・衛満が建国 ・4 郡（ 楽浪 ・真番・臨屯・玄菟）
AD1c ～2c	後漢	高句麗	・都： <u>丸都</u> ・ 帯方郡
3c	三国	高 / 三韓	・三韓（弁韓・辰韓・馬韓）
4c	南北朝	高句麗 百済 新羅 加羅諸国	・百済に仏教伝来 ・高句麗好太王碑
5c			・新羅： 骨品制
6c	隋	百済 新羅	・加羅× ・百済の仏教伝来
7～9c	唐	新羅 (+渤海)	・663：白村江の戦い →唐・新羅○ vs 百済・日本× ・668：唐・新羅 vs 高句麗× ・672：新羅、統一。 ↳都： <u>金城（慶州）</u> ・698：渤海（靺鞨人： 大祚榮) ↳都： <u>上京竜泉府</u>
10c	五代	高麗	都： <u>開城</u>
11～12c	宋		・渤海× ・科挙の実施 / 両班 ・大蔵経、 金属活字 、高麗青磁
13c		元	・高麗× ・ 王健 が建国。 ・三別抄の乱 ・元寇 └1274 年：文永の役 ↳1281 年：弘安の役

時期	中国	朝鮮半島	出来事
14c 末 ～14c	明	李氏朝鮮	・都：漢城 ・李成桂が建国 ・1403 年：銅活字の鋳造 ・1446 年：世宗が訓民正音（ハングル）を発明
16c			・豊臣秀吉の朝鮮出兵 └1592 年：壬辰倭乱（文禄の役） └1597 年：丁酉倭乱（慶長の役） →李舜臣が活躍。

【問 19】

教科書に記載はなく、用語集にのみ記載あり。

ただ、これも難関大を中心に頻繁に出題されてきた用語であるため、一元化して覚えておこう。クリム＝ハンが難関大を中心によく聞かれる用語であるため（地政学の観点で見た場合、興味深い地域であるためか）、知っていれば解けたらとう。本地域は 18 世紀後半にロシアに占領されたため、19 世紀当時は存在していない。

- クリム＝ハン国…Qürim。15 世紀前半～1783。キプチャク＝ハン国から自立してクリミア半島に建設されたムスリムの政権。1475 年以降はオスマン帝国の宗主権下に置かれ、18 世紀後半にロシアが奪いとった。⁷⁸

参考文献

- 川北稔、桃木至郎監修『最新世界史図説 タペストリー 二十一訂版』、帝国書院、2023年。
- 木村靖二、岸本美緒、小松久男等『詳説世界史 B』、山川出版社、2017年。
- 木村靖二、岸本美緒、小松久男、橋場弦編『世界史探究 詳説世界史』、山川出版社、2023年。
- 全国歴史教育研究協議会編『世界史用語集 改訂版 アプリ付き』、山川出版社、2022年。
- 高岡慎太郎『はじめる世界史 要点&演習 改定版』、Z会出版、2014年。

-
- 1 木村靖二、岸本美緒、小松久男等編『詳説世界史 B』、山川出版社、2017年、140頁。
 - 2 前掲、140頁。
 - 3 前掲、140頁。
 - 4 前掲、140頁。
 - 5 前掲、140頁。
 - 6 前掲、140頁。
 - 7 前掲、140頁。
 - 8 前掲、170-173頁。
 - 9 前掲、109-111頁。
 - 10 『タペストリー』、126頁を参考。
 - 11 前掲、140頁。
 - 12 前掲、167頁。
 - 13 前掲、168頁。
 - 14 『タペストリー』、110頁を参考。
 - 15 前掲、141頁。
 - 16 前掲、141頁。
 - 17 前掲、140頁。
 - 18 前掲、142頁。
 - 19 前掲、123頁。
 - 20 「世界の歴史まっぷ」、
<https://sekainorekisi.com/glossary/%E3%82%B2%E3%83%AB%E3%83%9E%E3%83%B3%E4%BA%E3%81%AE%E5%A4%A7%E7%A7%BB%E5%8B%95/> (2023年5月21日)
 - 21 『はじめる世界史』60頁、『タペストリー』137頁、参考。
 - 22 前掲、103、124頁。
 - 23 前掲、109頁。
 - 24 前掲、109頁。
 - 25 前掲、148頁。
 - 26 前掲、148頁。地図に関してもそちらを参照とのこと。
 - 27 前掲、148頁。
 - 28 前掲、116頁。

-
- 29 前掲、116 頁。
- 30 「サンチャゴ＝デ＝コンポステラ」、全国歴史教育研究協議会編『世界史用語集 改訂版』、山川出版社、2022 年、98 頁。
- 31 前掲、150 頁。
- 32 前掲、125 頁。
- 33 前掲、125 頁。
- 34 『タペストリー』138、324、326 頁を参考。
- 35 「イエス」、『世界史用語集 改訂版』、28 頁。
- 36 前掲、48 頁。
- 37 『タペストリー』74 頁、参考。
- 38 「スキタイ」、『世界史用語集 改訂版』、53 頁。
- 39 「スキタイ」、『世界史用語集 改訂版』、53 頁。
- 40 前掲、79 頁。
- 41 前掲、79 頁。
- 42 前掲、71 頁。
- 43 「世界の歴史まっぷ」、
https://sekainorekisi.com/world_history/%E7%A7%A6%E3%83%BB%E6%BC%A2%E5%B8%9D%E5%9B%BD%E3%81%A8%E4%B8%96%E7%95%8C/ (2023 年 5 月 21)
- 44 『タペストリー』94 頁、参考。
- 45 前掲、24 頁。
- 46 前掲、24 頁。
- 47 前掲、22 頁。
- 48 前掲、24 頁。
- 49 前掲、22 頁。
- 50 前掲、22 頁。
- 51 『タペストリー』55 頁、参考。
- 52 前掲、166 頁。
- 53 前掲、74 頁。
- 54 前掲、74 頁。
- 55 前掲、74 頁。
- 56 前掲、69 頁。
- 57 前掲、72 頁。
- 58 前掲、73 頁。
- 59 前掲、72 頁。
- 60 『タペストリー』、92、98 頁、参考。
- 61 前掲、83 頁。
- 62 前掲、83 頁。
- 63 前掲、83 頁。
- 64 前掲、60 頁。
- 65 前掲、25 頁。
- 66 『タペストリー』80 頁、参考。
- 67 前掲、82 頁。
- 68 前掲、82 頁。
- 69 前掲、82 頁。
- 70 前掲、122 頁。
- 71 前掲、86 頁。

⁷² 前掲、26 頁。

⁷³ 前掲、63 頁。

⁷⁴ 「斉民要術」、『世界史用語集 改訂版』、60 頁。

⁷⁵ 前掲、82 頁。

⁷⁶ 前掲、91 頁。

⁷⁷ 『タペストリー』122 頁、参考。なお、来年度の世界史研究にの教科書において、朝鮮史の記述が増えているため、今年の入試でもその傾向を反映して朝鮮史の出題が増える可能性がある。表などを参考に、しっかり覚えておこう。

⁷⁸ 「クリム＝ハン」、『世界史用語集 改訂版』、177 頁。

解答一覧

問題番号	解答 番号	正解	問題番号	解答 番号	正解
I	1	4	II	21	1
	2	4		22	4
	3	2		23	5
	4	3		24	2
	5	2		25	3
	6	1		26	1
	7	3		27	1
	8	1		28	1
	9	4		29	4
	10	1		30	3
	11	2		31	3
	12	3		32	4
	13	2		33	1
	14	5		34	4
	15	2		35	3
	16	4		36	2
	17	1		37	1
	18	4		38	2
	19	6		39	3
	20	4		40	3



近大行くなら

マナビズム



マナビズム 校舎一覧

大阪府

上本町校
高槻校
豊中校
茨木校

北千里校

堺東校
枚方校
天王寺校
大阪梅田校

兵庫県

西宮北口校
神戸三宮校
姫路校

京都府

四条烏丸校

滋賀県

草津校

兵庫県

名古屋駅前校
豊田校

オンラインコース

無料受験相談
申込受付中

